

2009年3月卒業予定者の 就職内定率は93.7%を超えました!

医薬品・食品・環境・臨床検査・受託研究・化学・ITなど、バイオの専門技術を活かせる多様な業種を中心に約170社から内定を獲得。大学院への進学も順調な成果を上げています。

就職・進学状況レポート (2009年3月卒業予定者)

2009年3月卒業予定者の就職内定率は、2008年11月14日現在93.7%となっています。

業種においては、医薬品関連企業をはじめ化学、IT、食品、環境・臨床検査・受託研究、といったバイオの専門技術を活かした業種、その他地方公務員、小売、サービス、農業協同組合など、幅広く多様な業種の企業などから内定を得ています。

職種においては、研究開発、研究補助、生産管理、品質管理といった実験系の技術職、システムエンジニアやプログラマーなどの情報系技術者、また、製薬会社のMR(医薬情報担当者)ほか各種の営業職、総合事務職など、幅広い産業や業種にわたって希望に沿った職種に就くことになっているのが特徴的です。

また、2008年11月14日現在、大学院進学希望者70人中66人が、本学大学院をはじめ近畿・東海の国立大学を中心とした大学院入試に合格、順調に進路が決まっています。

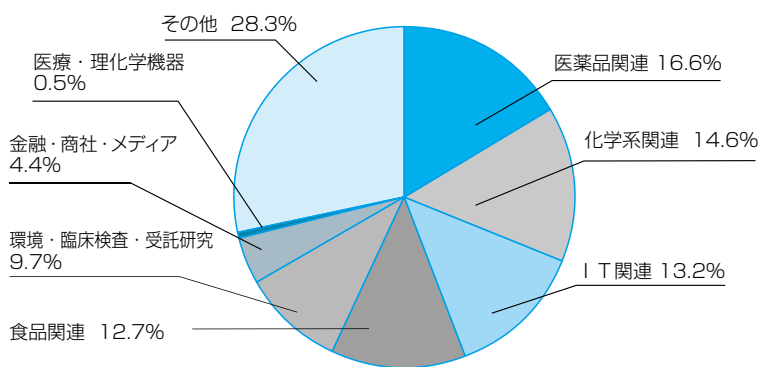
●就職・進学 希望・決定状況内訳

卒業予定者数	215人	
就職希望者	就職希望者数	142人
	就職希望率	66.1%
	内定決定者数	133人
	内定決定率	93.7%
大学院進学希望者	大学院進学希望者数	70人
	大学院進学希望者率	32.5%
その他	その他人数	3人
	その他割合	1.4%

(2008年11月14日現在)

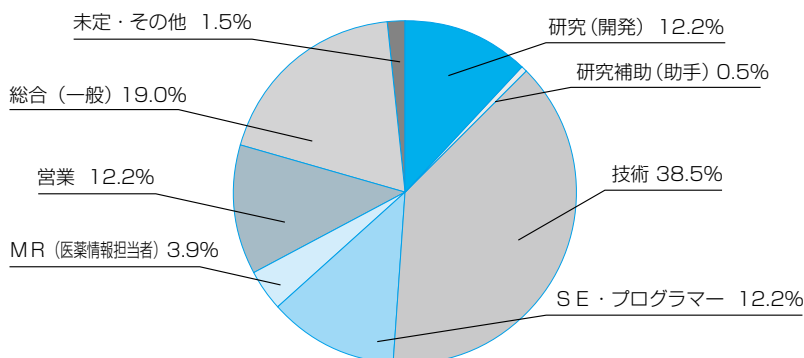
●業種別 就職内定先内訳 (延べ人数)

	延べ人数	割合
医薬品関連	34人	16.6%
化学系関連	30人	14.6%
IT関連	27人	13.2%
食品関連	26人	12.7%
環境・臨床検査・受託研究	20人	9.7%
金融・商社・メディア	9人	4.4%
医療・理化学機器	1人	0.5%
その他	58人	28.3%
合計	205人	100.0%



●職種別 就職内定先内訳 (延べ人数)

	延べ人数	割合
研究(開発)	25人	12.2%
研究補助(助手)	1人	0.5%
技術	79人	38.5%
SE・プログラマー	25人	12.2%
MR(医薬情報担当者)	8人	3.9%
営業	25人	12.2%
総合(一般)	39人	19.0%
未定・その他	3人	1.5%
合計	205人	100.0%



※いずれも、2008年11月14日現在の延べ人数

著名な企業に、続々と内定！

三期生の就活、志望通りの企業に決まる。

09年春に卒業予定の三期生の就活は、11月14日現在93.7%を超えました。また、就職率だけでなく、志望通りに企業から内定を得て、就職満足度もきわめて高いのが本学の就活の特徴となっています。

—— 主な就職内定企業 ——

<医薬品関連>

味の素ファルマ株式会社
あすか製薬株式会社
アステラスリサーチテクノロジー株式会社
協和発酵キリン株式会社
参天製薬株式会社
株式会社サンプラネット
生晃栄養薬品株式会社
第一三共プロファーマ株式会社
武田薬品工業株式会社
株式会社中外医学研究所
中外製薬工業株式会社
鶴原製薬株式会社
日本ケミファ株式会社
日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社
ノボルディスクファーマ株式会社
日野薬品工業株式会社
福地製薬株式会社
富士製薬工業株式会社
株式会社ベプテッド研究所
株式会社メディサイエンスプランニング
株式会社リニカル

<食品関連>

カネ美食品株式会社
株式会社紀文食品
キュービー醸造株式会社
シノプフーズ株式会社
東海デキストリン株式会社
トーラク株式会社

名古屋製酪株式会社

日本ハム食品株式会社
山崎製パン株式会社
株式会社ユーハイム

<環境・臨床検査・受託研究>

アイテック株式会社
イビデンエンジニアリング株式会社
喜楽鉱業株式会社
日本クレア株式会社
パレクセル・インターナショナル株式会社

<化学関連>

株式会社アイ・エス・テイ
天野エンザイム株式会社
イオン製薬株式会社
KB セーレン株式会社
小西化学工業株式会社
シキボウ株式会社
小厚化成株式会社
大和化成株式会社
東京応化工業株式会社
ナカライテスク株式会社
ナゴヤダクロ株式会社
日華化学株式会社
日本コルマー株式会社
フタムラ化学株式会社
緑川化成工業株式会社
和光純薬工業株式会社

<IT関連>

株式会社アルグラフィックス
インフォコム株式会社
株式会社オービックビジネスコンサルタント
カテナ株式会社
株式会社シーエーシー
TIS システムサービス株式会社
日本インターシステムズ株式会社
ムラタシステム株式会社
明治安田システム・テクノロジー株式会社

<商社>

エバルスアグロテック株式会社
カワヤス国分株式会社
興和株式会社

<その他>

株式会社京セラソーラーコーポレーション
株式会社くらコーポレーション
ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社
タキイ種苗株式会社
鳥取いなば農業協同組合
トヨハシ種苗株式会社
日本原燃株式会社
日本生命保険相互会社
株式会社林原
福山市役所
株式会社平和堂
瑞浪市役所

(2008年11月14日現在で掲載許可を得た企業・事業所のみを紹介させていただきました。50音順・敬称略)

内定が決まった学生たちの喜びの声



内定先
武田薬品工業株式会社
原馬 依子さん
(滋賀・守山高校出身)

就職活動で一番苦労したことは、自己分析です。意外に自分のことを分かっていないことに気づき、慌ててアピールポイントを探しましたが、自分の短所しか見えず、どれ程自分が無能なのかと悩んだ時期がありました。

しかし、サークルの先輩や友人に自己分析をしてもらい、そして、今までの人生を振り返ることで、自分の人間像だけでなく、将来は医薬品系の仕事に携わりたいことなどが明確になっていきました。

自己分析をきっかけに自分を見つめ直せたので、エントリーシートや面接で、自信を持ってアピールすることができ、その結果、内定が頂けたと思います。バイオ大で学んだ知識や技術が仕事で活かされたらと思っています。



内定先
シキボウ株式会社
大谷 彰浩さん
(滋賀・長浜高校出身)

水質浄化から環境保全に関わって社会に貢献したいと思い、環境関連企業を中心に12月から就職活動を始めました。最終面接まで進むけれど内定がもらえない時期が続き、6月後半にやっと内定をいただくことが出来ました。

就職活動中は、アルバイトや友人との会話でリフレッシュしました。エントリーシートや面接は、研究室の先生や就職課にアドバイスを頂き自信がつかしました。就職活動は、日常では知ることのない企業が社会には多く、重要な役割を担っている事を知り、社会の見方を変えるきっかけになりました。

シキボウでは技術職として、産業用フィルターなどを作る産業資材事業部で働く予定です。4月からスムーズにスタートが切れるよう、今から社会人として当たり前の行動ができるように心掛けていきたいです。



内定先
山崎製パン株式会社
佐伯 和樹さん
(大阪・山田高校出身)

私は食べるのが好きという理由と、大学で学んだ知識を活かすことができる食品会社を志望していました。正直言うと就職活動中は本当に落ち込みました。自分ではうまくいったと思っていた企業で落ちたり、面接で言いたいことを言えなかったり。しかしそんな時に「次こそは頑張ろう！」とやる気を出させてくれたのが友人で、就職活動中は友人に会うことが本当に楽しみになっていました。この友人たちの励ましがあったからこそ志望していた企業から内定を頂くことができたのだと思います。

会社に入って最初は仕事を覚えることに精一杯で、足を引っ張ることも多いと思います。しかし少しでも早く仕事を覚え、周りの皆から信頼されるよう頑張りたいです。

本学をはじめとした大学院への進学も次々と決まる

大学院への進学を予定している学生は、本学大学院への53人を筆頭に、他大学の大学院へも33人(延べ41人)がすでに合格を決めています。

他大学の大学院では、昨年に引き続き東大、阪大、名大など旧帝大の大学院をはじめ、希望の大学院への合格を決めています。

(近畿)

長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科53人、大阪大学大学院生命機能研究科4人、大阪大学大学院理学研究科3人、大阪府立大学大学院理学系研究科1人、大阪市立大学大学院医学研究科1人、大阪市立大学大学院工学研究科1人、神戸大学大学院医学研究科1人、奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科9人

(東海・北陸)

名古屋大学大学院理学研究科2人、名古屋市立大学大学院システ

ム自然科学研究科2人、名古屋市立大学大学院医学研究科1人、三重大学大学院生物資源学研究科1人、静岡大学大学院農学研究科1人、静岡県立大学大学院生活健康科学研究科1人、金沢大学大学院医学系研究科1人、富山大学大学院医学薬学教育部1人、北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科2人

(関東)

東京大学大学院新領域創成科学研究科1人、横浜市立大学大学院国際総合科学研究科1人、横浜市立大学大学院1人

(中国・九州)

岡山大学大学院自然科学研究科1人、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科1人、広島大学大学院医歯薬学総合研究科1人、広島大学大学院生物圏科学研究科1人、熊本大学大学院医学教育部1人、鹿児島大学大学院医学系研究科1人

大学院入試合格者の状況(2008年11月1日現在)

学園 Topics

滋賀医科大学との連携が実現

共同大学院設立を視野に「バイオ医療学」の創出と人材育成

本学と滋賀医科大学は、多彩な大学間の連携事業を進めることで合意し、9月24日には協定書の調印式を行いました。この連携は、バイオテクノロジーと医学・看護学という両大学の専門領域を融合させ、「バイオ医療学」という新しい学問領域の創出と人材育成をめざすもので、文部科学省の戦略的大学連携支援事業にも選定されています。

2009年4月、新タイプの2学科を新設

1学部3学科への拡充でバイオを総合的に学ぶ環境が整う

動物(生体)レベルでバイオを統合的に学ぶアニマルバイオサイエンス学科と、ITとバイオが融合したコンピュータバイオという新しい領域を学ぶコンピュータバイオサイエンス学科の2学科を、来年4月から新設します。既存のバイオサイエンス学科とあわせ1学部3学科となり、文字通りバイオを総合的に学ぶ環境が整います。

長浜バイオ大学の2009年度一般入試の情報

2009年度の入試動向

昨年08年度入試は、高卒者数が前年から約5万9千人減少した年(これは2000年以降最大の減少数)で、さらに、立命館大学での生命科学部開設もあった環境下での入試で、受験者数は前年に比べ10%の減少となり、入学者は引き続き定員を上回り確保したが、実質倍率が1.5倍低下し開学以来一番広き門での入試となりました。

09年度入試は、高卒者数が前年から約2万2千人減少の見込みですが、大学志願率も上昇すると考えられますので、受験生総数としては昨年並みとなることが予測されています。理系学部系統別での志望動向では、前年より社会的話題の高まりもあり「理-化学・生物・生命科学」「農」への人気が女子を中心として上昇しています。一方、これまで資格に直結して人気のあった「医療技術・薬・福祉」への志望が低下しています。また、この間の志望動向として目立つ「都市難関大学への強気の受験」が引き続き高まっています。

こうした全体環境の下での本学09年度入試となりますが、新たにユニークな2学科「アニマルバイオサイエンス学科」と「コンピュータバイオサイエンス学科」の設置により、資料請求数・模試志望者の増加傾向から前年以上には関心を持ってもらっていると思われるのですが、入試での大幅な受験生増加傾向を示すものとはなっていません。むしろ、定員を40名増加させていますので、入試難易としては学科ごとでの違いはありますが、全体としては昨年並みになることが予想されます。また、理系受験生の場合、センター試験を受験する者が多いので、一般入試での受験よりセンター試験利用での入試にシフトする傾向が見られます。

本学合格に有利な受験方法

この間の本学入試は、広き門となっていますがそれでも分野としての人気の高まりもあり、合格するためにはより有利な受験方法を知って受験した方が良いでしょう。

まず、一番有利な受験方法は「複数回数受験する」ということです。一般入試では前期2回、中期1回、後期1回、センター利用3回の受験機会が設定されています。受験ではその日の体調や入試出題内容・受験者数などで不利な結果となる場合もあり、1回だけの受験では実際の力を発揮できずに終わってしまう場合もあります。ですから複数回数受験することが合格に一番有利な受験方法となります。本学では複数方式での受験も可能ですが、今年度から「複数学科併願制」となったので、1回の受験で3学科別の合否判定が出来ることとなります。受験した学科で不合格でも他の併願学科で合格する機会が多くありますので是非利用してください。まず、本学学部への入学を決めてから一番学びたい学科を再度他の方式で受験することも可能ですからかなり有利な受験となります。

次に入試方式の特徴を生かすことが有利となります。英語に自信がないなら国語も受験科目に入っている前期、定員が多く一番低倍率で結果として奨学生も狙える中期、センター試験3科目の得点を利用するならセンター利用前期A、センター試験4科目の得点を利用し、結果として奨学生も狙うならセンター前期B、センター試験5科目の得点を利用し、結果として奨学生を最も狙いやすいセンター中期、最後の最後3月からも出願可能な後期という、自分の学習到達度に合わせて有利となる特徴をもった入試方式で受験することです。

最後に交通の便の良い最寄りの試験会場を受験することです。どこで受験しても問題は同一で、合否判定での有利不利はありません。出来るだけ近くの試験会場で早めに到着して、気持ちに余裕をもって受験した方が良い結果が得られるでしょう。

2009年度一般入学試験の日程

試験区分		学 科	試験日	試験会場	出願期間
一般入試前期①	試験日 自由選択制	全学科	1月28日(水)	本学・京都 大阪・名古屋 東京・岡山	1月5日(月)~1月22日(木)
一般入試前期②			1月29日(木)		
一般入試中期 (特別奨学生選抜入試)		全学科	2月22日(日)	本学・京都・大阪 名古屋・東京・岡山	1月5日(月)~2月17日(火)
一般入試後期		バイオサイエンス	3月 7日(土)	本学・京都 大阪・名古屋	1月5日(月)~3月 3日(火)
大学入試 センター 試験利用 入試	センター利用前期A方式	全学科	1月17日(土) 1月18日(日) 本学独自の試験なし	各地区指定の 試験会場	1月5日(月)~1月16日(金)
	センター利用前期B方式 (特別奨学生選抜入試)				1月5日(月)~1月30日(金)
	センター利用中期 (特別奨学生選抜入試)	バイオサイエンス			1月5日(月)~2月17日(火)

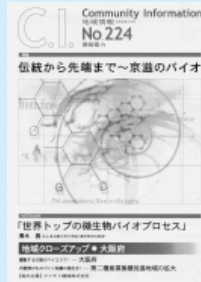
社会的に高い評価を受ける本学の実績

「本当に強い大学」として就職実績を評価 (週間東洋経済)



東洋経済新報社が発行する『週間東洋経済』10/18号は、「本当に強い大学」を特集しています。ここでは財務力、教育力、就職力の3つの視点から大学をランキングし、その中の就職率ランキングで本学は近畿理系の第5位、全国理系ベスト100でも53位にランキングされています。

注目されるバイオ研究と人材育成の実績 (関西電力地域広報誌)



関西電力が地域社会向けに発行している広報誌『Community Information』10月号は、特集で「京滋のバイオ」を取り上げています。この中で、滋賀県の「バイオの集積地」として長浜地域を紹介。また、本学・吉田理事長へのインタビューで、人材育成や産官学の共同、国内外の大学との連携など、本学の取り組みを紹介しています。